

令和3年度 紀の川市社会福祉協議会事業報告

「ともにささえあい、みんなでつくる福祉のまち」
～希望にあふれ、誰もが安心して暮らせる紀の川市～
の実現を目指して（『第二次地域福祉活動計画』基本理念）

I 法人運営部門

会務の円滑な運営を図るとともに、関係団体との連携を深め活動基盤の強化に努めた。
また、地域福祉活動の貴重な財源となる社協会費の増強に努めた。

1. 理事会の開催

- 第1回 決議 令和3年6月7日（月） 書面審議
内容 ① 令和2年度事業報告
② 令和2年度決算
③ 令和3年度定時評議員会の招集
④ 次期評議員候補者の推薦
⑤ 次期評議員選任・解任委員の選任
- 第2回 決議 令和3年7月8日（木） 書面決議
内容 ① 会長の選任
② 副会長の選任
- 第3回 決議 令和4年1月14日（金） 書面決議
内容 ① 会長の選任
- 第4回 期日 令和4年3月16日（水）
場所 紀の川市役所本庁 2階 市民協働スペース
出席 理事13名
内容 ① 経理規程の一部改正
② 令和3年度補正予算（第1号）
③ 令和4年度事業計画
④ 令和4年度予算
⑤ 令和3年度第2回評議員会の招集
⑥ 役員等賠償責任保険契約の締結
- 第5回 期日 令和4年3月22日（火）
場所 桃山保健福祉センター 2階 ピーチホール
出席 理事15名
内容 ① 会長の選任
② 欠員副会長の選任
③ 利益相反取引及び双方代理となる事項の承認

2. 評議員会の開催

定 時 決議 令和3年6月22日(火) 書面審議
内容 ① 令和2年度事業報告
② 令和2年度決算
③ 理事の選任
④ 監事の選任

第2回 期日 令和4年3月16日(水)
場所 紀の川市役所本庁 2階 市民協働スペース
出席 評議員18名
内容 ① 補欠理事の選任
② 令和3年度補正予算(第1号)
③ 令和4年度事業計画
④ 令和4年度予算

3. 評議員選任・解任委員会の開催

第1回 決議 令和3年6月22日(火) 書面決議
内容 ① 評議員の選任

4. 監事会の開催

期日 令和3年5月27日(木)
場所 桃山保健福祉センター 1階 相談室
出席 監事2名
内容 ① 令和2年度事業報告
② 令和2年度決算

5. 地域福祉推進委員会の開催

(1) 打田支所

期日 令和3年5月14日(金)
場所 紀の川市役所南別館 3階 応接室
内容 ① 紀の川市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
② 紀の川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
③ 検討課題について

期日 令和3年8月31日(火)
場所 紀の川市役所南別館 3階 応接室
内容 ① 紀の川市社会福祉協議会見守り事業について
② 打田支所地域福祉推進委員会研修会について

期日 令和3年10月2日(土)
場所 粉河ふるさとセンター 小ホール
内容 ① 車いす避難サポーター養成講座

(2) 粉河支所

期日 令和3年5月13日(木)

場所 社協粉河支所 1階 会議室

内容 ① 紀の川市社会福祉協議会理事候補者の推薦について
② 紀の川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
③ 検討課題について

期日 令和3年7月30日(金)

場所 社協粉河支所 1階 会議室

内容 ① 粉河支所地域福祉推進委員研修会について
② 紀の川市社会福祉協議会見守り事業について
③ その他

期日 令和3年10月2日(土)

場所 粉河ふるさとセンター 小ホール

内容 ① 車いす避難サポーター養成講座

(3) 那賀支所

期日 令和3年6月29日(火)

場所 那賀保健福祉センター 3階 老人大学講座室

内容 ① 検討課題について
② その他

期日 令和3年12月23日(木)

場所 那賀総合センター

内容 ① 認知症サポーター養成講座

(4) 桃山支所

期日 令和3年6月10日(木)

場所 桃山保健福祉センター 2階 保健指導室

内容 ① 地域課題について検討・意見交換
② その他

期日 令和3年11月26日(金)

場所 桃山保健福祉センター 1階 機能訓練室

内容 ① 生活支援アンケートについて
② 意見交換

(5) 貴志川支所

期日 令和3年4月26日(月)

場所 貴志川保健福祉センター 3階 リフレッシュルーム

内容 ① 生活支援アンケートについて

② その他

期日 令和3年6月25日(金)

場所 貴志川保健福祉センター 2階 研修室

内容 ① 長山団地自治区における福祉問題について

② その他

期日 令和3年7月30日(金)

場所 貴志川保健福祉センター 2階 研修室

内容 ① 地域課題について

② その他

期日 令和3年10月22日(金)

場所 貴志川保健福祉センター 2階 研修室

内容 ① 地域課題について

② その他

期日 令和3年11月25日(木)

場所 貴志川保健福祉センター 2階 研修室

内容 ① 紀の川市地域巡回バスの現状について

② その他

◇社協会員の募集と会費の徴収

自治区役員や福祉委員に協力をいただき、社協への理解と会費協力依頼を行った。
また、企業や商店を訪問し、更なる会員増強に努めた。(単位：円)

		一般会費	賛助会費	団体会費	特別会費	合計
本年度	口数	12,318	8	2	120	12,448
	金額	6,158,850	16,000	20,000	600,000	6,794,850
前年度	金額	6,482,850	28,000	20,000	465,000	6,995,850

◇寄附金 (単位：円)

	件数	金額
本年度	51	806,855
前年度	50	919,264

II 地域福祉活動部門

基本目標1 地域で安心して暮らすための体制整備

地域住民の方々が、安心して日常生活が送れるようサービスの利用援助や地域での生活支援に向けた相談支援活動、情報提供、連絡調整を行った。

相談支援体制の充実強化

○総合相談事業

(1) 心配ごと相談事業

開設日数：42日 相談員数：35名 相談者数：31名

相談内容	生計	年金	生職業業	住宅	家族	結婚	離婚	衛生健康	医療	精神保健	法人権	財産	事故	母子保健	児童福祉	老人福祉	苦情	その他	合計
相談件数	3	0	3	5	7	0	0	0	0	3	1	5	0	0	0	0	2	8	37

(2) 専門相談事業

①弁護士相談 開設日数：12日 相談者数：69名

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
相談件数	17	12	10	15	15	69

(3) 研修会の開催

○心配ごと相談員研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

福祉サービスの充実

1. 紀の川市介護予防事業（市受託）

介護予防拠点施設「蛍の里」において、いきいき高齢者を対象に健康の保持と生きがいつくりを支援するサービスを行った。

	本年度	前年度	比較
延利用者数	660	903	△ 243

※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4～6月・9月・1～3月と蛍の里を閉所していましたので、延べ利用者が減少しています。

事業名	実施日	場所	延参加人数
手浴	全日	蛍の里	660
体操 (DVD)	全日	蛍の里	660
筋力トレーニング	火曜日 (21回)	蛍の里	約90
脳力トレーニング	全日	蛍の里	660
グラウンドゴルフ	全日	蛍の里	約440
輪投げ	不定期	蛍の里	約200
畑作業	全日	蛍の里	約200
季節の物作り	年数回	蛍の里	約100
蛍の里自衛消防訓練	1回	蛍の里	職員4

2. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託）

安心した生活を送ることができるよう、低所得者世帯、障がい者世帯、又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、経済的自立・社会参加の促進を図った。

《相談・貸付件数》※特例貸付除く

	本年度	前年度	比較
相談件数	19	18	1
貸付決定	1	2	△ 1

また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた生活福祉資金（緊急小口資金・総合支援資金（生活支援費））の特例貸付を行った。

《特例貸付決定状況》※受付を開始した令和2年3月25日からの集計

（単位：円）

資金種類	件数	貸付金額
緊急小口資金	397	65,500,000
総合支援資金（生活支援費）	610	433,825,000
合計	1,007	499,325,000

生活福祉資金貸付調査委員会の開催

第1回 令和4年3月24日（木）

3. 用具貸出事業

延貸出件数 53件

物品名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
車椅子	16	1	9	12	4	42
歩行器	0	0	0	1	0	1
高齢者疑似体験セット	0	0	0	0	0	0
輪投げ	3	7	0	0	0	10
合計	19	8	9	13	4	53

情報提供の充実

○広報啓発事業

(1) 社協広報紙「福祉きのかわ」の発行（毎月1回発行 市内全戸へ配布）

(2) 声の広報発行

内容 「福祉きのかわ」「広報紀の川」をカセットテープやCDに録音し、年間延べ67人の必要な方に貸出した。

(3) 社協ホームページの運用 アドレス (<http://kinokawashishakyo.jp>)

権利擁護体制の充実

(1) 事業実績

・専門員数：3名 生活支援員数：14名

①福祉サービス利用援助事業

項目	本年度	前年度
相談受付件数	30	23
未契約者への相談件数	158	191
生活支援員の訪問回数	663	658
専門員活動としての訪問等回数	1,997	1,297
解約件数	5	7
新規契約件数	4	11
年度末契約実数	35	36

②日常金銭管理等事業

項目	本年度	前年度
相談受付件数	0	0
未契約者への相談件数	0	0
生活支援員の訪問回数	0	9
専門員活動としての訪問等回数	0	11
解約件数	0	1
新規契約件数	0	0
年度末契約実数	0	0

③法人後見事業 受任実績なし

(2) 研修会等の参加

研修会名	期日/場所	参加人数
令和3年度成年後見制度利用促進に向けた体制整備研修会及び市町村申立研修会	令和3年7月20日(火) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	3
令和3年度第1回福祉サービス利用援助事業専門員研修会	令和3年8月5日(木) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	3
令和3年度日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会I	令和3年9月27日(月) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	1
令和3年度福祉サービス利用援助事業事例検討会	令和3年11月4日(木) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	3
令和3年度成年後見制度利用促進圏域及び人口同規模自治体による意見交換会	令和3年11月30日(火) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	2
家事関係機関との連絡協議会	令和3年12月20日(月) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	2
令和3年度福祉サービス利用援助事業事例検討会	令和4年1月13日(木) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	3
令和3年度社会福祉協議会職員研修会 —社協職員基礎講座—	令和4年1月20日(木)～21日(金) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	1
令和3年度第2回福祉サービス利用援助事業専門員研修会兼生活支援員継続研修会	令和4年3月7日(月) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	2
意思決定支援シンポジウム「後見事務における意思決定支援」	令和4年3月18日(金) ZOOM研修 桃山保健福祉センター	3

紀の川市生活困窮者自立支援事業（市受託）

生活困窮者に対して包括的かつ伴走型の支援を行い、自立の促進を図ることを目的に、就労の支援その他自立に関する問題について、生活困窮者からの相談を受け、市及びその他関係機関と連携し支援を行った。

1. 相談件数

①生活福祉資金に関すること	155 件
②住居確保給付金に関すること	7 件
③生活困窮者自立支援金に関すること	31 件
④その他（家計相談・生活保護制度等）	2 件
合計	195 件

紀の川市生活支援体制整備事業（市受託）

紀の川市における高齢者の生活支援・介護予防等の体制整備に向けた取り組みを推進していくことを目的に、生活支援コーディネーターを設置し住民主体の助け合い活動や多様な生活支援サービスを進めた。

(1) 協議体会議の開催 2回

(2) 地域調査7地区（内生活支援アンケート調査の実施2地区）

(3) 生活支援ヒアリング調査

・食事サービス事業利用者（高齢者単身世帯・高齢者のみの世帯）に対して、社協職員による生活支援に関するヒアリング調査をおこなった。

回答者数は436名（男95名・女341名）

(4) 社会資源とのマッチング等

・NPO法人フレイルサポート紀の川と社協との高齢者見守り活動協力に関する協定締結

基本目標2 孤立しないためのネットワーク構築

誰もが地域の中で孤立することなく安心して生活することができるよう、地域の絆の再構築を目指し、交流会や食事サービス、ふれあい・いきいきサロンなどを行った。

小地域ネットワークの充実

1. 食事サービス事業

月2回実施 延べ配食数 1,351食

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
本年度	341	212	330	90	378	1,351
前年度	2,207	2,073	1,493	593	2,235	8,601

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断しており全体15回実施。

食事サービス包装紙の作成

保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校に協力いただき、包装紙を作成した。

2. ふれあい交流事業の開催

SHAKYOフェスティバル2021

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. お楽しみ食事会の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4. 電話訪問（粉河支所）

毎月1回、ボランティアによる「一人暮らし高齢者宅」への電話訪問を実施した。
また、聴覚に障がいのある方にはFAXで安否の確認を行った。

電話訪問時に体調不良や相談ごとがあった方には、民生委員や関係機関等と連携し対応した。

訪問件数515件

5. 見守りネットワーク推進事業

75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、地域住民の「ゆうあい活動」として誕生日ハガキを送るなどの見守り活動を実施した。

送付数 1,684枚

6. 家族介護者交流事業（市受託）

（1）介護者教室

見守り・声掛けや相談相手を希望する方が多い中、地域でボランティア活動をしている方や、関心のある方を対象に「傾聴」について理解を深めていただくと共に、介護者サロン事業等のボランティア活動につなげていくことを目的とする。

期 日 令和4年3月28日（月） オンライン研修
場 所 桃山保健福祉センター 2階 保健指導室
社会福祉協議会粉河支所
参加者 41名
内 容 「傾聴」について理解を深める
講 師 ボランティアグループアップル 代表 岡 育子 氏

（2）介護者サロン

在宅介護者の交流の場を確保し、日常の悩みや体験を語り合い交流を深め、日頃の労苦を癒す場を設けた。

・いちごカフェ開設

開設日 毎月第2水曜日 午前10時～午後3時
場 所 貴志川保健福祉センター
利用者 延べ4名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断あり6回開催

・とんまか喫茶開設

開設日 毎月第3水曜日 午前10時～午後3時
場 所 社協粉河支所
利用者 延べ6名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中断あり6回開催

（3）介護セミナー

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

見守り体制の充実

○高齢者見守り事業（市受託）

一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に対し、見守り、安否確認等を実施することにより、高齢者の孤独感の解消及び安心感の提供を図った。

項目	本年度	前年度	比較
年間利用者数	42	37	5
新規利用者数	17	8	9
利用中止数	12	6	6
延訪問回数	2,056	1,703	353

ふれあい・いきいきサロンの充実

高齢者社会参加の促進、閉じこもり予防、地域交流の場として地域のボランティアの企画運営により小地域の単位（自治区単位）で開催した。

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
設置数	18	15	15	13	10	71
開催回数	133	78	21	49	71	352
延参加人数	1,715	849	307	869	801	4,541

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集まるサロン活動は自粛が多かった。そのような中で、新たな取組としてボランティアが見守りを兼ねて個々のお宅に訪問し、プレゼントを配るような訪問型サロンが誕生し広がりを見せた。

◎「ふれあい・いきいきサロン」代表者会議

期日 令和4年3月1日（火）・3月3日（木）・3月4日（金）・3月7日（月）

場所 桃山保健福祉センター2階・社会福祉協議会粉河支所1階

参加 58名 55サロン

内容 助成金やサロンバス運行等について説明を行った。

高陽会がおこなっている公益的な取組の紹介をしてもらい、周知した。

サロン新聞の発行により、サロンで活かしてもらいたい社会資源の紹介やサロンの取組紹介等、情報発信をおこなった。

紀の川市つどい場事業（市受託）

在宅の高齢者が気軽に集えるような居場所を提供することで、「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げ社会参加を促すことで、閉じこもりや寝たきり、認知症予防となり、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができることを目的に開催した。

名 称 【カフェほほえみの和】

開設日 毎月第1木曜日 午後1時～午後3時

場 所 社会福祉協議会粉河支所 1階

開催日時	参加人数	内 容
令和3年4月1日	35	紀の川市地域おこし協力隊員（青柳沙恵さん）の講演
令和3年7月1日	35	ZOOMオンライン会議体験・クイズ・歌のビデオ鑑賞
令和3年8月5日	32	お寺（修徳院）住職による法話 アルツハイマーデー周知飾り花づくり
令和3年10月7日	47	ボランティアグループ「むかしは娘」ちんどんショー
令和3年11月4日	46	押し花はがき作り
令和3年12月2日	52	クリスマス会のような健康教室
令和4年1月6日	40	新春初笑い落語（わかやま楽落会）

参 加 延287名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月・6月・9月・2月・3月は休止

基本目標3 災害に備えた取り組みの推進

自然災害発生後の災害ボランティアセンター設置運営・充実化とボランティア活動上での問題提起や地域、組織、各種団体との連携・協働などを目的とした和歌山県災害ボランティアセンター主催『災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修』及び『広域・同時多発災害対応訓練』に各地区福祉防災ボランティア会会員と共に参加した。

また、紀の川市内において甚大な大規模災害が発生した際、社会福祉協議会が設置・運営する災害ボランティアセンターが円滑かつ効果的な支援活動を行えるよう令和3年6月22日、那賀ライオンズクラブと『災害時におけるボランティア支援に関する協定』を締結した。

基本目標4 地域福祉活動の推進

地域活動を推進していくために、ボランティアの確保・育成に努めるとともに、子どもの頃から福祉に関心を持ってもらえるよう、児童等を対象とした福祉教育を実施しました。さらに、社会福祉協議会機能の強化を図った。

ボランティアセンターの機能強化

○ボランティアの登録

団体 64グループ 1, 176名

個人登録者 59名

児童・生徒への福祉教育の推進

(1) 2021「サマーボランティアスクール」

夏休みの期間をボランティア活動推進の好機ととらえ、児童・生徒等が福祉について学びボランティア活動へ参加するきっかけづくりを目的に開催した。

- 実施日 ①中学生の部 令和3年8月19日(木)
 ②高校生の部 令和3年8月20日(金)
- 場 所 桃山保健福祉センター
- 参 加 ①中学生 9名
 ②高校生 5名
- 内 容 ・障がい者スポーツ「ボッチャ」体験
 ・紀の川市の現状における高齢者問題
 ・助け合いゲーム ～カードゲームを通して学ぶ～
 ・オンライン(ZOOM)でつながる福祉施設見学
 ①渉久会(デイサービス)高齢者施設
 ②三幸園(作業所)障害者施設
 ③桃郷(障害児保育)児童発達支援センター

市内の社会福祉法人と協働し、オンラインによる施設紹介、仕事のやりがいなど職員の話、利用者と参加者生徒との交流をし福祉学習をした。

(2) 福祉教育への支援

高齢者や障がい者に対する理解を深め、助け合い支え合いの大切さをわかってもらえるように、車椅子体験や障害者スポーツ体験、福祉についての授業を行った。

学校名	期日	学年	人数	内容
丸栖小学校	令和3年11月12日(金)	4年	30	福祉の話・車イス・障がい者スポーツ
安楽川小学校	令和3年8月16日(月)	5年	50	戦争体験紙芝居 (ボランティア赤い夕陽グループ)
	令和3年11月22日(月)	4年	63	福祉の話・車イス・障がい者スポーツ
	令和3年12月15日(水)	5年	50	しめ縄リース作り体験 (老人クラブ桃山・ボランティア)
荒川中学校	令和3年10月25日(月)	1年	45	あいサポート 障がい者スポーツ交流(市障害者連盟)
	令和3年10月27日(水)	3年	47	福祉学習(助け合いゲーム)
	令和3年11月15日(月)	2年	61	福祉学習(助け合いゲーム)
貴志川中学校	令和3年11月8日(月)	1年	152	あいサポート 障がい者スポーツ交流(市障害者連盟)
池田小学校	令和3年11月19日(金)	4年	63	福祉の話・車イス・ガイドヘルプ体験
	令和4年1月28日(金)	4年	63	ゲストティーチャーから学ぶ (ZOOMオンライン) 講師:市身体障害者連盟川嶋会長
竜門小学校	令和4年2月15日(火)	4年	13	福祉の話・車イス・障害者スポーツ
調月小学校	令和3年11月25日(木)	4年5年	30	福祉の話・車イス・障害者スポーツ
西貴志小学校	令和3年12月17日(金)	5年	62	しめ縄作り体験 (西貴志地区福祉委員・ボランティア)
麻生津小学校	令和3年11月29日(月)	5年	9	福祉の話・車イス・障害者スポーツ
川原小学校	令和4年2月17日(木)	4年	12	福祉の話・車イス・障害者スポーツ

多機関連携による機能強化

1. 紀の川市社会福祉法人連携会議の開催

紀の川市内の社会福祉法人が分野を越えて横のつながりをつくり、さまざまな場面で連携して地域づくりを担っていける関係をつくることを目的に連携会議を開催した。

実施日	令和3年12月18日（土）
場 所	桃山保健福祉センター
参 加	10法人（10名）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「近畿地域福祉学会和歌山県大会」オンライン視聴 ・グループでの意見交換 地域支援（公益的な取組）をするために、自組織に「今できること」「これから取り組むべきこと」について話し合った。

2. NPO法人フレイルサポート紀の川との高齢者見守り協定締結

一人暮らし高齢者や、高齢者のみの世帯に対して不安や孤独感・孤立感の解消、生活上の困りごとのニーズ把握を見据えた、見守り活動やその仕組みづくりの協働を目的に、高齢者見守り活動に関する協定締結を行った。

締結式	令和4年3月23日（水）
場 所	桃山保健福祉センター

その他取り組み

◇共同募金運動への協力

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から翌年3月31日の間、市内全域で募金運動を実施した。（単位：円）

戸別募金	学校募金	職域募金	他の募金	合計
3,889,806	159,512	657,833	288,582	4,995,733

和歌山県共同募金会から、1,859,000円の配分を受け本会の地域福祉事業（広報紙発行业・福祉委員活動）等で活用した。

2. 歳末たすけあい運動（単位：円）

	在宅ねたきり高齢者	生活保護受給者	準要保護児童・生徒	災害被災世帯	合計
件数	88	287	519	1	895
配分金額	264,000	1,791,000	1,527,000	20,000	3,602,000

◇リサイクル掲示板事業

資源の有効活用と消費生活の合理化を図ることを目的に実施した。

	譲ります	譲ってください	譲渡成立
件数	13	9	9

◇福祉団体活動支援

社会福祉協議会に事務局を置く福祉団体活動の支援を行なった。

老人クラブ連合会	ボランティア連絡協議会	障害児者父母の会
遺族会	福祉防災ボランティア会	赤十字奉仕団
母子寡婦福祉連合会	身体障害者連盟	

◇チャリティー事業

(1) 愛の日事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

◇紀の川市戦没者追悼式

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

◇独居高齢者防火診断

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

◇マイクロバスの運行

	本年度	前年度
運行回数	1	1

※新型コロナウイルス感染症拡大防止による行事の中止があったため

Ⅲ 在宅福祉サービス部門

(1) 介護保険事業・介護予防事業

① 居宅介護支援事業

居宅において日常生活を営むために必要な保健・医療、福祉サービスなどを適切に利用できるよう、要介護者や家族の依頼を受けて、その心身の状況や置かれている環境、要介護者や家族の希望を勘案して、居宅サービス計画を作成するとともに、その居宅サービス計画に基づき指定居宅サービス事業者等と連絡調整を行った。

給付管理 件数	要 介 護						介護予防
	1	2	3	4	5	合計	
本年度	361	542	279	180	131	1,493	143
前年度	412	514	237	208	133	1,504	215
比較	△ 51	28	42	△ 28	△ 2	△ 11	△ 72

② 要介護認定訪問調査

自宅等を訪問し、心身の状態や日常の生活、家族・居住環境などについて聞き取り調査を行った。

	本年度	前年度	比較
調査件数	3	10	△ 7

③ 訪問介護事業

介護が必要な方に対し、居宅でその方の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護など生活全般にわたる援助を行った。

延利用 者数	要 介 護						介 護 予 防			
	1	2	3	4	5	合計	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
本年度	344	193	140	67	64	808	223	335	24	582
前年度	237	259	74	53	56	679	236	361	32	629
比較	107	△ 66	66	14	8	129	△ 13	△ 26	△ 8	△ 47

延訪問 回数	介護給付サービス				予防給付サービス
	生活援助	身体介護	身体・生活	合計	
本年度	5,903	2,999	4,733	13,635	1,562
前年度	4,094	3,095	5,251	12,440	2,508
比較	1,809	△ 96	△ 518	1,195	△ 946

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）

基本チェックリストの基準に該当した方を対象に、利用者の自立に向けた生活支援を行った。

	本年度	前年度	比較
延利用者数	339	287	52
訪問回数	1,502	1,315	187

(3) 紀の川市ほほえみサービス事業

介護保険制度上、提供することができない援助を、本会利用者に限り自費サービスとして行った。

	本年度	前年度	比較
延利用者数	38	31	7
訪問回数	111	95	16

(4) 障害福祉サービス事業

①居宅介護等事業

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう利用者の身体その他の状況及び環境に応じて、家事や相談など生活全般にかかわる援助や外出時における移動中の介護を行った。

延利用者数 151 名

訪問回数	家事援助	身体介護	通院介助	同行援護	合計
本年度	1,090	285	1	27	1,403
前年度	1,551	482	3	18	2,054
比較	△ 461	△ 197	△ 2	9	△ 651

②紀の川市障害者地域生活支援事業（移動支援事業）

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう利用者の外出時における移動中の介護を行った。

延利用者数 49 名

訪問回数	移動介護	
	身体介護あり	身体介護なし
本年度	429	144
前年度	613	35
比較	△ 184	109